

整理番号	HT27023	分野	生物、農学	(キーワード)	動物、飼育、生命理解
------	---------	----	-------	---------	------------

宮城教育大学

動物から学ぶ日本の食と環境

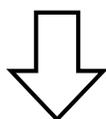
先生(代表者)	齊藤 千映美(さいとう ちえみ) 環境教育実践研究センター・教授			
自己紹介	子どものころから、生き物が大好きで、自然と関わる仕事をしたいと思っていました。自宅で犬とネコを、研究室では魚、ザリガニも含めて大小さまざまな生き物を飼育しています。			
開催日時・ 主な募集対象	平成27年7月25日(土)	(対象)	小学校5・6 年生	(人数) 12名
集合場所・時間	理科学学生実験棟 理系第二実験室		(集合時間)	09:20
開催会場 (集合場所)	宮城教育大学 理科学学生実験棟 理系第二実験室ほか 住所: 〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149 アクセスマップ: http://www.miyakyo-u.ac.jp/about/campus/ct2.html			
内 容				
<p>わたしたちは、日頃から動物性のたんぱく質を多く口にしています。わたしたちの命は、たくさんの動物の命を頂くことでなりたっている、ということもできます。また、家畜を育てるためには、さらに地球上で多くの資源が使われており、じつは人間と家畜の関係は、将来の食糧問題にも密接につながっています。</p> <p>このプログラムでは、講義の後、ヤギ、ウコッケイなどとの飼育動物とのふれあい、観察を行います。ヤギの乳搾りが可能な場合は実施し、チーズづくりなどの活動を通じて、動物の生命活動への好奇心と共感をはぐくみます。最後に、楽しくておもしろい、動物との出会いを通じて、動物から得られる恩恵を学び、動物の幸福に配慮した飼育の方法を理解し、また環境に配慮した食生活のあり方について、考えてみませんか。(ヤギの状態により乳搾りはできないことがあります。)</p>				
スケジュール			持 ち 物	
9:00-9:20	受付(理系第二実験室)		帽子、虫除け、汗拭きタオル、水筒、雨具。長ズボン、スニーカーでお越しく下さい。必要に応じて着替えやマスクなど。	
9:20-9:40	開講式(あいさつ、オリエンテーション)			
9:40-10:10	講義(人と動物の関係)			
10:10-11:30	実習(ヤギの健康観察と乳搾り:乳搾りができない場合は飼育体験)		特 記 事 項	
11:30-12:00	講義(乳製品ができるまで)		各種アレルギー、虫さされに敏感などのご心配がある場合、ご家庭で責任を持ってご検討ください。ご不明な点は遠慮なくおたずね下さい。	
12:00-12:30	実習(ヤギ乳を使って調理:乳搾りができない場合はヤギの採食を観察)			
12:30-13:30	軽食、科研費の説明			
13:30-14:00	ふりかえり、未来博士号の授与、アンケート記入			
14:00	終了、解散			

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	環境教育実践研究センター 担当者:福地 彩
住所：	〒980—0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149
TEL 番号：	022-214-3679
FAX 番号：	同上
E-mail：	fukuchi@staff.miyakyo-u.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月10日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
齊藤千映美	H26-H28	基盤研究(C)	26350223	生命理解教育のためのネットワーク型動物飼育活動モデルの提案



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。